

編集・発行  
天台宗 東圓寺  
電話：84-4114  
Fax：84-4104  
<http://toudenji.jp/>

令和元年 お盆号

東圓寺だより

## 上原行照大阿闍梨による特別祈禱

～不二の祈り～ 10月3日(木)午前11時より



樹木希林さんの遺作となった「日日是好日」という映画のインタビューで、樹木希林さんは『災害が多くいつどうなるのか分からない時代に、「なんでもないことを来年も、また、毎年同じことができることが本当に幸せなのですね」というセリフがあるのですが、今の時代に必要な作品になってほしい』と話されていました。

「不二の祈り」は今年6年目を迎えます。令和という元号が変わって初めての「不二の祈り」です。今年も千日回峰行者上原大阿闍梨様をお迎えして執り行われることは感慨深いことです。

時間に追われる現代社会の中で、「日日是好日」などと思うことはとても難しいことです。けれども、一年の中で10月3日だけは、今年もこの日を迎えられる幸せなときを過ごしていただきたいと、住職始め役員一同心を込めて準備しております。

「幸せになりたい・・・」という自分自身の願い、また、「幸せになってほしい・・・」という自分以外の方を祈ること、様々な祈りや願いを上原大阿闍梨様に届けていただきましょう。

※別紙にて祈禱申込書が同封してございます。合わせて御覧ください。

新盆一覧は別紙になっております。必要な方は墓参時などにお声がけください



ガイドブックを必要の方はお声がけ下さい

新元号令和を迎えて早、三カ月が過ぎました。災害の年平成と言われ、新しい元号令和に期待されましたが、相変わらず異常気象も続き、また痛ましい大量殺人事件が起きてしまいました。毎日のように暗いニュースが続きます。そんなことは無縁のように、ここ忍野村には毎日多くの観光客が訪れています。世界文化遺産の忍野八海ですが、ほとんどの観光客は文化遺産としての価値もわからず帰っていきます。それを危惧していましたが、この度多くの皆様のご協力のおかげで、東圓寺と忍野八海に関する、ガイドブックが出来あがりました。このガイドブックを手にした観光客は、世界遺産忍野八海の価値を理解してくださると思います。巻末に賛助者の方々や企業を紹介してありますが、改めて御礼申し上げます。おかげさまで一万部印刷できました。東圓寺便りお盆号と一緒に全檀家の皆様にも配布致しましたので一読いただけたら幸いです。これからは観音堂の再建に取りかかります。改めて物心両面からのご助力をお願い申し上げます。

合掌

～観音堂再建基金浄財寄進者～

◆平成31年2月

多摩市 田村志津代殿 金 1万円  
東京都 谷口哲生殿 金 1万円

◆平成31年3月

長田勝行殿 金 20万円  
渡邊伊佐美殿 金 50万円  
小山町 大森藤太郎殿 金 1万円  
小田原市 渡邊一造殿 金 10万円

◆令和元年5月

渡邊晴行殿 金 20万円  
鷹野一宏殿 金 1万円

◆令和元年6月

平山 平川豊幸殿 金 1万円  
鷹野三吉殿 金 5万円

◆令和元年7月

神奈川県 木村菊江殿 金 3万円  
和歌山県 森脇諒子殿 金 3万円  
市川大門 一瀬八重子殿 金 1万円  
東京都 水田君枝殿 金 1万円

令和元年7月24日現在の再建基金 2,195,703円

～東円寺下半期行事予定～

8月 7日	新盆施餓鬼会	午前11時より
8月13日～16日	お盆	
8月16日	仏参金受付	午前9時～午後5時
8月16日	新盆精霊流し	午後1時より
9月19日～20日	諏訪明神大祭	
9月23日	秋彼岸中日	
9月23日	仏参金受付	午前9時～午後5時
10月 3日	不二の祈り	午前11時より
	(祈禱受付)	午前10時より)
11月 3日	お会式	午前11時より
12月31日	除夜の鐘	午後11時半より

◆富士吉田地区に  
お住まいの皆様へ◆

富士吉田市ではこの数年、住居表示による住所変更が行われております。

お手数ですが墓参時などに、新住所をお寺の方までお知らせください。ご協力お願い申し上げます。



☆お盆は本堂にお参りしましょう☆

東円寺は、昔からお盆の期間中(8月7日～16日)本堂に地獄絵図の掛け軸を掛けています。東円寺の地獄絵図は、年号などが無い為に、どのくらい前のものか分かりませんが、かなり古いものです。地獄絵図は、怖いものではなく、人が生きるための戒めとして作られたものです。是非、お参りください。

仏参金納入口座のお知らせ

郵便口座

記号 10800 番号 6654231  
口座名 トウエンジ 又は 東園寺  
※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通 121086 東円寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認が出来ないことがありますので必ず戸主がわかるようにして下さい。

## 子育て地藏尊大祭 4月20日(土)

4月20日平成最後となる「東円寺子育て地藏尊大祭」が催されました。当日は天気も良く、満開に咲く桜の中開催できました。今年もたくさんの子供達が参加し、護摩法要では子供達の健康と皆様の願いを前掛けに込めてご祈祷させていただきました。恒例の露の団姫(つゆのまるこ)師による落語をはじめ、比叡山から駆けつけた、しょうぐうさんと踊るしょうぐうさん体操、初参加となる自称「ミスターモリック」こと美光堂の森歳朗さんによるマジックショーを披露させていただきました。

子供から大人までがマジックショーを楽しそうに見入る姿がとても印象的でした。他にもバザーやお茶席、ミニ花展なども開催いたしました。

来年も青空と満開の桜の下、地藏尊大祭が催せるよう祈りながら、たくさんのご参加をお待ちしております。



☆バザー売上 49,400円

内 39,400円 忍野図書館へ寄付

内 10,000円 インド子供基金へ寄付

ご協力ありがとうございました

## 新霊・先祖供養 比叡山団参ご報告



令和に元号が変わり初めての団参でした。出発日が忍野村主催のトレイルレースと重なってしまったために、参加できない方もあり、20名集まらないのではと心配しました。けれども、最終的には住職と法嗣、寺庭合わせまして30名で比叡山へ上がり、阿弥陀堂にて先祖供養をさせていただくことができました。団参中お葬儀の連絡をいただく確率は高く、今年もお葬儀の連絡が入り、急きょ法嗣は比叡山で皆様とお別れすることになりました。自宅葬から葬祭場での葬儀に変わってから10年以上の歳月が流れました。葬祭場の都合でお葬儀の日程に余裕があるため、亡くなられた方が親戚関係でも慌てて帰宅することなく団参に最後までご参加いただけました。改めて時代の変化を痛感しました。

一昨年まで東圓寺の総代長をしてくださった長田利勝様、世話人をされていた長田新一様、阿弥陀堂でお二人の戒名が読み上げられたときには、東圓寺の行事に参加してくださっていた姿が目につかひ、寂しさがこみ上げてきました。必ず別れは訪れるものですが早すぎたお別れでした。先祖供養団参は比叡山に上がり、伝教大師様の霊廟をお参りし、阿弥陀堂にて回向法要し、翌日根本中堂の朝のお勤めに参列します。一般の旅行と大きく違うところは、最大の目的が供養であるということです。亡き人を思い出すには寂しすぎて忘れたいと思うとき、日常に流されて忘れてしまっているとき、それが生きるということだと思えます。けれども、阿弥陀堂での回向法要は、じっくりとゆっくりと故人と向き合える尊い時間です。比叡山以外は毎年違った場所を見学していますが、この団参が毎年変わることなく継続できているということは、変わらない日常を過ごしていることの証だと思えます。来年も、皆様に楽しんでいただけるよう先祖供養団参を計画しております。比叡山に上がったことのない方は、是非ご一緒に参りましょう。

## ～こども発心会～（こどもほっしんえ）

先月7月21日、当山に於いて第2回「こども発心会」を開催いたしました。これは、子供を対象に一緒にお経を唱え、お寺や仏教にふれてもらうことを目的とする「一隅を照らす運動」の行事です。当日はお勤めが終わったあとに、十王図（地獄絵図）の説明や、「しょうごうさん」の塗り絵をしました。親御さんたちへは、住職より東円寺や忍野八海の説明をさせていただきました。子供たちの遊びが多様化している今日、地獄の説明を怖がりながら聞いている姿や、境内で元気いっぱい鬼ごっこや昆虫採集する子供たちを見るとホッとする私がいまいました。こうして幼少期からお寺や一隅を照らす運動にふれることで、将来への経験や、お寺に慣れ親しんでいただくきっかけになればと考えております。来年もご参加をお待ちしております。

慈法 拝



来年も  
おともだちを  
さそってきてね



## ～寺庭のつばやき～

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして温かなご支援ありがとうございます。5月には元号が令和と変わり新天皇がご即位され、感慨深い年になりました。また、東円寺では、6月末に皆様のご協力によってガイドブックが完成し配布させていただいております。今回、東円寺だよりとご一緒にガイドブックを同封させていただきました。このガイドブックの企画を担当して下さった「オフィス安藤」と「古都デザイン」は、一昨年「ジャポニズム」という季刊会報誌の新年号に東円寺のHPにあります富士山の写真（天野保吉氏撮影）を使わせてほしいというご連絡からのご縁でした。何気なく連絡を取り合う間柄となり、やはり何気なく忍野八海や東円寺についての話からガイドブックのお話になりました。「ジャポニズム」という季刊会報誌は一般財団法人本願寺文化興隆財団が発行しておりますので、仏教・文化については知識が豊富な方々です。予算内に刊行できるようにしたらお願いしたいというお話でスタートしました。とても良心的な社長さんですから、プロカメラマンをお願いしたら予算オーバーしてしまうことを承知してくだり、セミプロの社長さんが直々にシャッターを切ってくださいました。表紙は山門の龍ですが、山門の龍を表紙にするというアイデアやアングルを拝見したときは、ただただ感激いたしました。

ガイドブックの完成は当初今年春の予定でした。けれども、編集に携わってくださった方が、腰の圧迫骨折をしてしまったために6月末になってしまいました。5月新元号が「令和」と発表され、新元号をガイドブックに反映することができましたことは、偶然ではないように感じております。ガイドブックの大きさは、女性のハンドバックに入れても邪魔にならないように。また、忍野八海や東円寺の歴史などお伝えしたいことはたくさんありましたが、字数が多いとお読みいただけないだろう。お読みいただかなくては、ガイドブックを配布する意味がなくなってしまう。そんなことを相談しながら写真の配分をさせていただいております。四季折々の忍野村、また東円寺の魅力をご紹介できる工夫もされております。何よりも、ご協賛いただきました民宿様や商店様、企業様のお蔭で、1万部という冊子を制作できましたことを心から感謝申し上げます。今後も東円寺の更なる発展に精進して参りますのでご支援のほどよろしく願いいたします。

※ジャポニズム2017年冬vol12は、本堂に置いてあります